

平成22年度国立大学図書館協会地区協会助成事業報告書（東海北陸地区）

標記のことについて次のとおり報告します。

実施 地区名	東海北陸地区 (主担当大学：三重大学，名古屋工業大学，名古屋大学)										
事業名	デザイン・コーディネート講習会										
事業目的・ 趣旨	<p>図書館において、ホームページや各種講習会チラシ、利用案内等利用者の視覚に訴える仕事が増えている。また、ラーニングcommons等、大学図書館の家具や室内環境は大きな発想の転換を求められている。</p> <p>この講習会では、色彩コーディネートの基本を「インテリア」と「情報媒体」の二面でとらえた講演により、図書館における「色彩」の重要性を理解するとともに図書館職員としてのスキルアップをはかることを目的とする。</p>										
事業概要	<p>開催日：平成22年10月8日（金） 開催場所：名古屋大学附属図書館多目的室 主催：東海北陸地区国立大学図書館協会 内容：</p> <p>1. 講演1 13:00～14:30（90分） 川角 典弘（和歌山大学 システム工学部講師） 演題： 「色彩計画の基礎と空間デザイン」</p> <p>2. 講演2 14:40～16:10（90分） 寺田 勝三（名古屋工業大学 建築・デザイン工学科助教） 演題： 「色彩・配色の基礎とコンピュータ活用法」</p> <p>3. 質疑応答 16:20～</p>										
経費	<p>執行額 190,120 円</p> <hr/> <p>内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">講師等謝金・交通費</td> <td style="text-align: right;">110,120 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">配付資料印刷費</td> <td style="text-align: right;">50,610 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">配付資料用紙代（講師準備分）</td> <td style="text-align: right;">5,314 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">会議費</td> <td style="text-align: right;">7,875 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">雑費</td> <td style="text-align: right;">16,201 円</td> </tr> </table>	講師等謝金・交通費	110,120 円	配付資料印刷費	50,610 円	配付資料用紙代（講師準備分）	5,314 円	会議費	7,875 円	雑費	16,201 円
講師等謝金・交通費	110,120 円										
配付資料印刷費	50,610 円										
配付資料用紙代（講師準備分）	5,314 円										
会議費	7,875 円										
雑費	16,201 円										

内容の
まとめ

参加者数： 60名

内訳 大学図書館 59名（国立 40名，公立 11名，私立 8名）
公共図書館 1名

近年，ラーニングコモンズ等の空間としての図書館の重要性やホームページ，印刷物等における色彩の重要性が増してきている。この講習会では，図書館における「空間と色彩デザイン」についての知識を深めることを目的とし，この種のテーマの研修会としては大学図書館界で初めての開催である。

東海地区の公私立大学図書館、公共図書館にも案内を行い、多数の参加者があった。

<講演>

川角 典弘 （和歌山大学 システム工学部講師）

演題： 「色彩計画の基礎と空間デザイン」

環境色彩デザインの観点から，色彩デザインの基礎知識，大学図書館を中心とした空間デザインについての解説と同研究室で行った図書館における学生の動向調査についての講演があった。

寺田 勝三 （名古屋工業大学 建築・デザイン工学科助教）

演題： 「色彩・配色の基礎とコンピュータ活用法」

色彩と配色の基礎知識についての解説やコンピュータによる実践的な活用方法等の講演があった。また，図書館，美術館等公共施設のリーフレット，パンフレットデザインについて実例に即した説明もあった。

講演後の質疑応答では，参加者から利用目的に沿った図書館空間のあり方や内装，什器，印刷物等に関する色彩コーディネートについての活発な質疑応答があり，有意義な講習会となった。